

# “キセラ 川西” ニュース

[川西市中央北地区整備事業]

平成 25 年 5 月 21 日発行

第 29 号

川西市中央北整備部  
TEL 072-740-1214

## まちづくり協議会のありかたについて

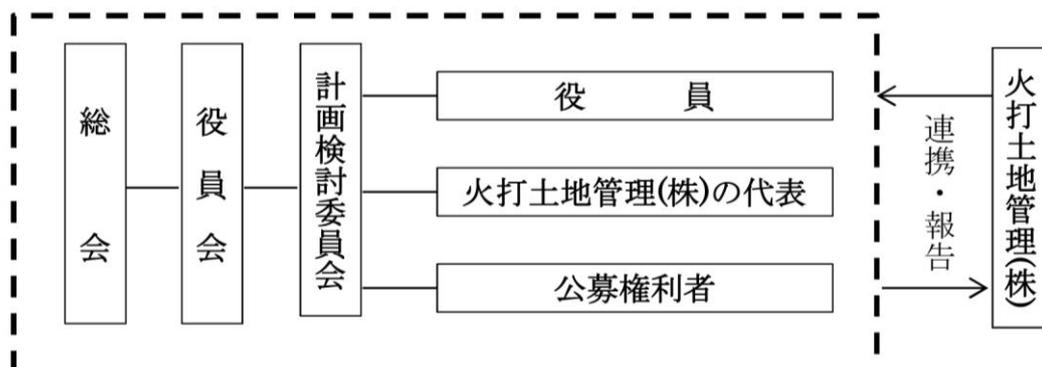
川西市中央北地区まちづくり協議会は、土地区画整理事業を進めるにあたり、広く行政や関係機関、専門家と協働して具体的な土地利用を検討し、換地に向けた合意形成を図るとともに円滑な事業推進を目的として、活動を行ってきました。

これまで、年に一度総会を開催し、全権利者が対象となる勉強会及び意見交換会としての中北ミーティングや計画検討委員会（協議会役員や事業関係者等で構成し、区域全体の土地利用の検討を進める部会）を開催してきました。しかし、昨年末に仮換地の指定を行い、区域全体の土地利用の検討を進める部会として検討を行う内容が少なくなってきたことから、今後、計画検討委員会については、月に一度（第1週の火曜日）の開催とすることとなりました。

<これまでの主な活動>

年度	総会	中北 ミーティング	計画検討 委員会	まちづくり だより
平成 21 年度	10/18	4 回開催 (12/22 1/27 2/23 3/24)	9 回	第 1～5 号 の発行
平成 22 年度	10/31	5 回開催 (4/20 5/22 6/20 8/21 10/31)	22 回	第 6～13 号 の発行
平成 23 年度	10/2	2 回開催 (4/16/17 2/26 )	24 回	第 14～18 号 の発行
平成 24 年度	10/14	開催無し	24 回	第 19～20 号 の発行

<組織図>



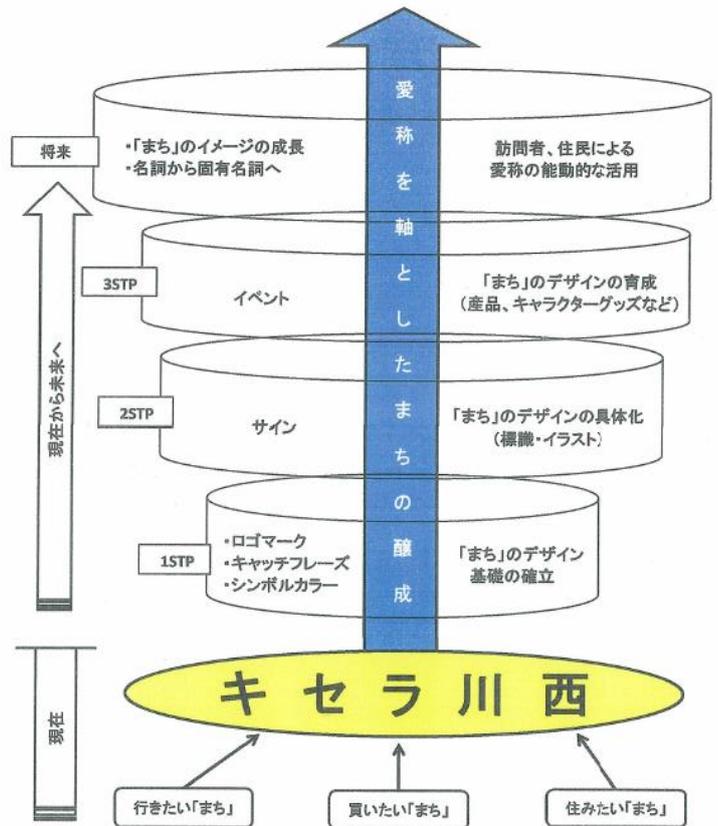
# 新しいまちの名称と他事例について（1）

前号のニュースでもお知らせしましたが、中央北地区の愛称が『キセラ 川西』と決まりました。

『キセラ』とは、「輝きや希望を表す『キ』、まちを象徴するせせらぎの『セ』、都（洛）を想像させる『ラ』を合わせ、韻の響きが良く、口ずさみやすいオリジナリティーのあるもの」として選定されました。

今後はロゴマークやキャラクターグッズなどについても検討を進め、たくさんの人々に知ってもらい、右図のとおり、愛称を軸としたまちの醸成を進めていきたいと考えています。

本号では、まちの愛称とまちづくりについての他地区の事例を紹介させていただきます。



## <他地区でのまちの愛称とまちづくり>

### みどりとみらいのみえる丘 『彩都』 (大阪府箕面市、茨木市)

彩都(国際文化公園都市)は、箕面市と茨木市にまたがる北大阪の丘陵地に、文化学術や研究開発、国際交流といった特色ある機能を組み込んだ、時代を先導するユニークな都市づくりをめざしています。



「みどり」と「みらい」が織りなす彩都とは・・・



### 『箕面森町』(大阪府箕面市)

箕面の森の中に生まれた街、だから「箕面森町」。目を閉じればおだやかな街の風景が浮かんでくるような、音の響きを大切にした名前です。箕面ブランドと豊かな共生を掲げ、子どもも、大人も自然も、みんなが幸せになれる街づくりを進めています。



## 『照葉(てりは)スマートタウン』(福岡市)

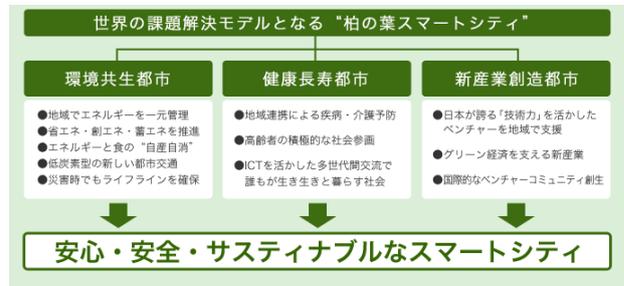
輝く緑は豊かな暮らしを彩る自然、あたたかなオレンジは人へのやさしさ、爽やかなブルーは先進のエネルギー技術を象徴しています。それぞれがお互いを高め理想的につながりあうことで、壮大なテーマ“CO2 排出ゼロ”を実現することをイメージしたシンボルです。

「太陽光発電」や「燃料電池」により排出量分のエネルギーをつくることで、理論上 CO2 排出をゼロにするスマートハウスが、安心・快適な家族の暮らしを実現しようとしています。



## 『柏の葉スマートシティ』(千葉県柏市)

柏の葉スマートシティでは、大学と街が融和した環境のもと、子供たちからお年寄りまで、世代と言葉を超えた多様な価値観の人々や企業が集まり、創造的環境の中で暮らしに関する様々な課題の解決モデルを創りあげようと、未来型の街づくりが進められています。



## 中央北歴史コラムーちょっとふるさと自慢(10)ー

### ー わがまち‘中央北地区’の重要性を振り返る ー

それは歴史にあり、この地の利にあるといえます。歴史を振り返ると見えてくる重要な‘位置’が着目されます。このことを踏まえて、「中央北地区」のこれからのまちづくりに取り組んでゆきたいと思います。

歴史を踏まえ‘川西’らしさを考える場合、故福本賀弘氏は、川西市を三つの文化で特徴づけようと提案(※)されています(当時、川西市文化財審議委員会委員長)。川西市を三つに分け、南部は「弥生文化」、中部は「源氏文化」、北部は「京都文化」で考えると分かりやすく、それを特徴づけることも大切だとされています。この要が地理的にも南部と考えられます。

#### <猪名族の地ー猪名川>

猪名川という名は、応仁天皇のころ猪名族が渡ってきたところから名前がついたといわれます。猪名族というのは朝鮮半島(新羅)の木工・大工集団といわれます。猪名川をつたい山林資源を求めあがってきたものと考えられ、現市役所で発掘された‘鍛冶屋’の跡やJR川西池田駅のところから‘墨壺’、‘丸木舟’がでてきています。同じころ、池田の呉羽、綾羽や絹延あたりにも織り姫伝説の部族があがってきて、機織り<sup>はたお</sup>などをはじめています。したがって、今の鼓ヶ滝から下流のほうは、弥生時代から人々が入ってきて、古墳時代にかけて一番栄えた場所と思われま

#### <九頭龍伝説の地ー多田地域>

多田地域には、九頭龍伝説があります。源満仲が住吉大社にこもり、矢を放ってその矢が落ちたところが多田の地といわれています。そこに、九つの頭のオス・メス二頭の大蛇がいて、その一頭にあたって死んだ。それが清和台の‘九頭死’で、それで水が引いて多くの田がでてきたところから‘多田’となり、矢がどこに落ちたのかを問いながらきたので‘矢問’となったといわれます。いずれにしても伝説の背景は鉱山などの資源で、これに時の勢力が関与してきたのが特徴となっています。

#### <京文化の地ー東谷地域>

東谷地域も鉱山や山林資源の関係はありますが、亀岡を経て入ってくる「京都文化」が栄えました。最初に開けたのが笹尾や笹部で、笹部の朝臣という皇族が開いたといわれます。

これらの歴史背景を振り返りつつ、中央北地域のまちづくりのヒント探しを試みたいと思います。皆様からの提案もお待ちしています。

※：まちづくりと文化(都市文化社)

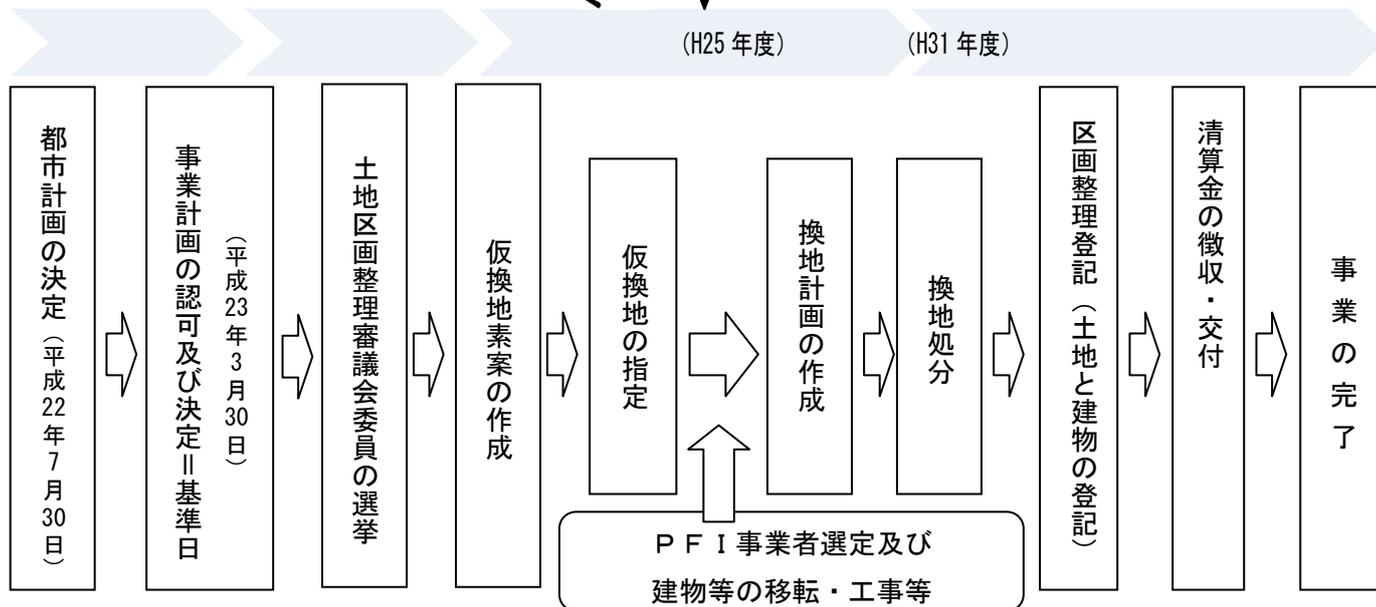
## スケジュールについて

平成 25 年度は、いよいよ建物等の移転・工事等や換地計画の作成に向けて事業を進めていきます。なお、本地区は、道路等の社会基盤整備や維持管理等について、現在「PFI 事業」として、民間事業者のノウハウ等の活用に向けた取り組みを行っています。

事業の予定



▼ PFI事業者(民間事業者)の選定を行います



### 今後の予定



3 4 5



#### 6月

PFI事業者の選定作業にかかります。(募集締め切りは5月31日)

#### 7月

PFI事業者としての優先交渉権者を選定します。

#### 8月

上記について、8月中旬頃の仮協定の締結を目指しています。

### ●中央北整備部からのお願い



建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第76条許可申請・地区計画の届出が必要です。



権利の移動があった場合や、住所氏名の変更があった場合はご連絡をください。

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 中央北整備部 中央北推進室 地区推進課

TEL : 072-740-1214 FAX : 072-740-1330

日時 : 午前9時~午後5時半 (ただし、土曜・日曜・祝日は除きます)

HP : <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuoukitaseibi/index.html>